



# 杉山たかのり ニュース

市議会内 日本共産党市会議員団控室 Tel.35-3368

自宅 西宮市津門仁辺町5-21 Tel・Fax35-1682

団ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログ・ツイッター・フェイスブックは杉山たかのりで検索を

## 2019年 今年もがんばります！

2019年が始まりました。

今年は統一地方選挙、参議院選挙と全国的な選挙が2つもある“選挙の年”です。西宮市議会議員選挙も4月14日告示、21日投票で行われます。ウソと隠ぺいの強権政治をすすめる安倍自公政権は、消費税10%への増税、大軍拡と9条改憲をすすめようとしており、2つの選挙はそれをストップさせるとともに、安倍政治そのものを終わらせる重要なたたかいになるでしょう。

西宮市議会も、自民党、公明党の国政与党と、維新の会など補完勢力や連携する議員が多数を占め、国政の立憲野党は残念ながら少数となっており、市民の立場に立って安倍政治と真正面からたたかう議会とはなっていません。

私は、阪神淡路大震災直後の市議選で、34歳で初当選以来、6期24年間市議会の活動を続けていますが、政治の劣化とそれによる市民生活の厳しさを、日々実感しています。その意味でも、日本共産党西宮市会議員団の役割はますます重要となっていると思います。

『悪政とたたかう』『政治を変える』 勇ましい言葉ですが、怒りを力に歴史を前に動かす、そんな1年になるよう、今年もがんばりたいと思います。

日本共産党西宮市議会議員 杉山たかのり



朝の駅頭市政報告 (7:30~)

\*都合により変更有

今津駅 (第1・2・3・5金曜日) 阪神甲子園西口 (第1・3・4木曜日)

JR西宮南口 (第2木曜日、第4金曜日)

## 12 月市議会

# 毎年 100 人超の育児休業中の職員の代替職員確保の職員定数条例改正案が否決

12 月議会に市当局は職員定数条例の改正案を提案しました。具体的には育児休業取得者を職員定数の外に置くことができるという内容です。

西宮市職員は、育児休業を最長 3 年間取ることができ、多くは女性職員で、毎年 100 人以上の職員が育児休業を取得しています。その業務は残る職員と臨時職員に割り当てられます。業務量が年々増大するため、臨時職員での対応は限界にきており、特に女性職員の多い職場では育児休業を取るのに気を遣う状況が生じています。そのため正規職員を割り当てられるよう育児休業中の職員を職員定数から外すことができるようにし、市民サービスを維持しようとする提案です。

正規の職員定数は約 3800 人ですが、東日本大震災への派遣職員や消防職初任研修の職員など、実際に西宮市の業務に携わっていない職員は、定数外となっています。市長部局では職員定数と定数内職員数がほぼ 100% となっていますが実際は 100 人以上休業し不足しています。必要な実働職員を確保するには、育児休業中の職員を定数外にすることは当然の措置といえます。実際に同様の条例改正で対応する自治体が多くあります。

## 自公等市民サービス維持より「行革」優先し反対

日本共産党西宮市会議員団は、そもそも職員数が不足していること、市民サービスを維持向上させるためには職員の職場環境の改善は前提となるという観点から賛成しました。

ところが、「改正のための客観的な情報がない」「効果が不明」「職員増員のための口実」「職員人件費が高い」「事務事業の見直しができている」「などの理由で、政新会（自民党系）、公明党、会派ぜんしん、維新プラスなどが反対、賛成少数で否決されました。

もちろん財政や効率は大事ですが、肝心なのは、市役所が市民へのサービスを確保できる態勢をつくることではないでしょうか。

### 職員が多すぎるのか？

西宮市の職員定数は 1998 年には 4200 人だったものが 400 人減となり、中核市になり業務が増大、この間増員しています。しかし、例えば生活保護のケースワーカーは、国基準では利用者 80 人に職員 1 人配置しなければなりません。市では 120 人に 1 人と、職員は 20 人以上不足しています。「大規模災害時には対応できない」と市も認めています。